夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
印刷兼編集人 吉田
発行兼印刷人

木田候補 改進党に身売か？ 動揺する農協組支持層

改進党浜通支部では十三日午後一時から湯本町平和会館で役員会を開催、知事選、石城郡県議補選などについて協議したが

知事選には改進党県大会の決定通り、自由、社会のいずれにも同調しないとの線を確認した、県議選については、公認もれを不満として自由党を脱党して無所属で立候補した木田森之助氏を応援することに決めた

同氏応援の表面の理由は「同氏は選挙後再び自由党に復帰する考えは全くなく、改進党の主張する冷害対策に賛意を表している」との理由からであるが、木田氏を支持して来た農協関係者らの間には、同氏の突然の「身売り」に対し、「これでは余りに節操がなさ過ぎる」との声があり動揺していると伝えられている

僻地の子供に贈物
教組石城支部が運動起す

教組石城支部では山村僻地校や冷害地の恵まれぬ児童生徒のために「図書を贈る運動」を推進することになり、今月から来春にかけて校友や父兄達に広く一般に呼びかけ愛の贈りものを募集することになつた

「愛の贈りもの」は僻年校友や父兄らから教組支部を通じて僻地の子供達に贈られ、恵まれぬ子供達を喜ばしているが、今年はこれら僻地校と共に温い支援を待つている冷害地の子供達にも還元することになつており、一般の協力が望まれる

営農資金の融資協議会

郡下営農資金融資協議会は二十二日午前十時から石城地方事務所に町村長、農協組合長、農業委員、農協常任理事、町村勧業主任ら約百五十名が集つて開き

農家から首を長くしてまたれている町村農協別割当を決めるが所轄資課では経営不振の農協に対し町村が融資するか合併でもしない限りは融資を受けられないので早急に改革を要望している

なお融資を受ける各町村とも一反歩五千円から最高一万五千円受けられる、十八日は県で郡下割当が決まるが石城の第一回融資額は四千万円とみられている

住民登録届出

平市ではいまだ住民登録をしていないものは早急に登録をすませるよう望んでいる、市で調べたところによると現在市内に転居して届出ないもの三九八世帯、他町村に転出して届出ないもの二四五世帯他市町村より本市に転入して届出ないもの一七一世帯になつている

四倉町議会

四倉町では十七日午前九時から役場会議室で定例町議会を開き

▼町基本財産積立の件▼同町税条例の一部を改正する条例▼昭和二十八年度町民税並に固定資産税減免の件▼昭和二十八年度同町歳入歳出追加更正予算▼磐城セメントより出願による町道変更の件等を審議する

泉町合併協議会
小名浜町で

小名浜町では十六日午前九時から公民館で「泉町に対し合併申入れの調考協議会設立」についての協議会を開らき、二、三日中に正式に泉町に合併申入れを行う予定だが現在泉町は一千二百五十世帯六千二百四十五名で、小名浜町は

大浦村で〝山狩り〟
猟友会消防団など出動

(既報)十一日夜同村孤塚農酒井藤兵衛さん(九)方の飼育する牡三才のめん羊が野犬らしきものに食殺されたのを始め上仁井田、塩木地内の野犬らしきものによるめん羊被害が十四頭もありめん羊、羊を飼育している農家を戦々きょうきょうとさせているがこれを重視した同村役場では放つておくわけにもいかず十五日同村猟友会五十名、消防団二百余名を動員して山狩りを行つている、この被害で平保健所でも調査に乗り出しているが同所の見たところによると犬ではなくその他の動物ではないかと語つている

平の成人式

平市の成人式は一月十五日平第一小校講堂で挙行、記念品贈呈や映画の会などを催すことになつているが、愈々二十九年度から成人として社会に送り出される市内の成人者は男四百六十一名、女子四百六十三名の六十三名の九百二十四名で

炭礦事故が續出

十四日から十五日かけて三ツの炭礦事故があつた

十四日午前九時半ころ磐崎村常磐炭礦磐崎本坑播立場附近で坑木運搬作業中の支柱夫樋口明彦さん(四さ)はとび口の柄が抜け支柱が腹にあたり全治十日間の打撲傷を負つた

十四日午前零時半ころ川部村元部炭礦二坑一片に落盤があり作業中の採炭夫佐藤某さんは背随骨折、全治一ケ月の重傷を負つた

十五日午前一時五分勿来町大日本勿来炭礦南坑第二坑内第四連左四坑附近で石炭を積んだトロを運搬作業中の運搬夫加藤徳蔵さん(三五)は足をすべらし頭部を炭車の角に打付け頭がい骨折で即死した

学生だけの窓口
平職安所が新しい試み

平職安では来年学校卒業する中、高校生のうち就職希望者の完全就職を期するため求人開拓や就職能力テストなどを行い万全を期してはいるが、

(写真は学生専門の職業紹介室)

就職する生徒には職安を利用させるよう望んでいる

(写真は学生専門の職業紹介室)

広報宣伝車
農山村を巡回

県広報宣伝車は救農対策の徹底を図るため十八日磐崎、渡辺、泉十九日好間を巡回する

小名浜野球協会

小名浜町野球協会では、十六日午後六時半から公民館で懇談会を開き、硬式チーム結成並びに総合グラウンド整備などについて協議する

グラウンド敷地は台ノ上地内町有地二万坪が予定されており、工費三千万円を計上して廿九年度中に着工する運びである

四倉保健研究会

四倉小学校では十六日午前九時から同校に於いて平保健所長並びに教委主事草野仁氏を招き、保健教育について講演並にトラホーム対策についての実践報告(四倉小、草野小)等保健衛生研究会を開く

名刺交換会
希望は早目に

平市主催の新年祝賀名刺交換会は恒例によつて一月一日午前十時から市公会堂で開催するが

参会者は来る二十日まで市役所に会費一人百八十円を添えて申込むよう希望している

産業安全協議会

平産業安全衛生労災協会合同部会は十七日午後二時から開く

平将棋碁楽会

平将棋碁楽会第十八回碁会の成績は次の通り

▼A組、優勝、菊地保寧、二位山本迪彦、三位、大竹一郎、四位、新田秀一

▼B組、優勝、五十嵐実、二位渡辺美代志、三位、宇佐美金広四位、柴崎秀雄

お天氣続き
急がしいお百姓

冬とはいえここ四、五日は小春日和のようなぽかぽかした好天気が続き道行く人もオーバー姿はまばら、農家の人々もこの変態的な天候に野良仕事に懸命である、日頃嫁いびりの口やかましいしゅうと婆さんもこの小春日和に尻をたたかれたのか庭さきでおちんちゃんを指揮してモミ洗ぐしにいそがしい

(写真は日和に恵まれた今日このごろのお百姓さん)

耳鼻咽喉科 産婦人科 山田勝議
高柳医院
高柳博明
平市駅前 電一二三番

丸石八幡筆本舗
八幡マルトモ文具部
パイロットの三角スピードくじ
一二〇本一組
必ず当る
この機会に御買上を!!
マルトモ文具部

酒蔵 みなみ 九一五

近火お見舞御礼申上げます
百姓 兩食堂 湯本町中央通り 電一五三
魚昭 鮮魚店 湯本町中央通り 電三六三
東京屋青果店 湯本町中央通り 電一三二
篠宮ラジオ店 湯本町中央通り 電四〇二
モナミ 喫茶店 湯本町中央通り 電一〇三
湯本座 湯本町中央通り 電一〇三
福島相互銀行 湯本支店 湯本町表町 電四七

ラジオは古山

日本中が待っている！全國騒然の話題作愈々公開
全女性を感激こ 哀愁の涙でつゝむ 世紀の恋愛大作
第二の君の名は
原作 菊田一夫 監督 大庭秀雄
淡島千景 佐田啓二 岸恵子 小林トシ子 北原三枝 川喜多雄二 柳永二郎 月丘夢路 阿里道子 語朗読
本日ヨリ
NHKの連続放送劇の映画化
併映 ★同時上映★ 七彩の花吹雪 総天然色
入場料 100円
平舘
作詞 菊田一夫 唄 岡本敦郎 作曲 岸恵子 古関裕而

市議會廿六日開く
越年資金の件など審議

平市の十二月定例市議会は廿六日開催と決つた

議案は自由労組から要求されている越年資金問題及び市職組の越年手当の件などが上程されるおこれらの財源をどこに求めるかについて廿一日午後一時から財務委員会を開いて協議するが

自由労組に対する手当は大体昨年より多少上廻る程度で、市職組に対しての昇級問題は困難とみられている

〝ひろし〟ちゃんの
身元判つて引取られた

十四日午後六時ころ常磐線上り上野行急行二〇三列車＝平着午前七時一分＝食堂車の洗面所に捨てられていた〝ひろし〟ちゃんは新聞やラジオの報道で知つた伯父に当る仙台市宝来町伊東和雄さん(三三)が引取に来た

〝ひろし〟ちゃんは伊東洋(三つ)と言い父親幸一さん(三七)と一緒に急行に乗つてそのまますてられたもので洋ちゃんのお母さんは離婚して父親幸一さんの手で育てられていたが幸一さんが最近再婚した妻からどこかにあずけるようにせまられ実家からも自分で飛出して来たので実家にも頼めず誰かひろつて来れるだろうと汽車の中に捨てられたものと判つた

江名赤痢峠越す
現在まで三百十七名発生

江名第一小学校の集団赤痢は十五日更に罹患児童の家族十八名が真性赤痢と判り隔離した、これで現在までに赤痢で隔離されたものは三百十七名＝第一小児童二百八十五名、小使一名、教員七名第二小児童二名、教諭一名中学校生徒四名、家族十七名＝だが一応峠は越したものとみられ二四日内に終そくするものとみられる、一方罹患者は十日から一ケ月隔離されるものとみられるなお家族の検便は十五日で終り十六日は第一小の赤痢にかゝつて来たので、「しかじかつかく」ということで駅長室に案内したところ、トランクの中は煉くなかれ手の切れそうな札束で百万円がきつしり埋つていた斎藤さん再度びつくり、美人が御礼にと現金壱万円を差出したが、滑べきな斎藤さんがことわると、そくさと表へ出て行つたと思つたら、土産物を買いこんで戻つて来て、「気持ばかりだからこれだけは受けて下さい」と言う、還慮をしながら受けとつて、家に帰つてひろげてみて三度び驚いた、「お菓子だけでも二千円がどこあつたべい」とは本人の偽らざる告白だつたとか、……御に拾つたクリスマスプレゼント物語

勧め人にとつては、暮のボーナスは大小に拘らず待遠しいものである、ことに台所を切り廻す奥さんにとつては「あてにしないであてにしている」玉手箱でもある、官公職員は平均二、五ケ月と決まり炭砿会社もそれぞれに応じて話合が進められて、この廿日頃から遅くも廿四、五日までには各家庭のふところに入つて来る、これで今年の年を忘れて、正月を迎えると言う寸法であるが、この外に戦後特に盛んになつた「クリスマス、プレゼント」がある、この贈物をひと足お先に頂戴した某労組副組合長の話を御披露しよう、話は半月程前にのつ逆るが、某炭砿の斎藤さんという労組副組合長さんは物堅いことで人に借用を得て、いつも無「何を言うか、君のでもないだ駄争で副組合長に推される人だが、所用で上野からの帰路列車ろう、おせつかいをするな」が湯本に停車した際、向席にいと押問答のところに、斎藤氏が

師走に拾うコボレ話 (2)
トランクの中に百万円の札束
思いがけないクリスマス贈物

つて来たので、「しかじかつかく」ということで駅長室に案内したところ、トランクの中は煉くなかれ手の切れそうな札束で百万円がきつしり埋つていた斎藤さん再度びつくり、美人が御礼にと現金壱万円を差出したが、滑べきな斎藤さんがことわると、そくさと表へ出て行つたと思つたら、土産物を買いこんで戻つて来て、「気持ばかりだからこれだけは受けて下さい」と言う、還慮をしながら受けとつて、家に帰つてひろげてみて三度び驚いた、「お菓子だけでも二千円がどこあつたべい」とは本人の偽らざる告白だつたとか、……御に拾つたクリスマスプレゼント物語

三十九万の赤字
本社事故委員会も調査

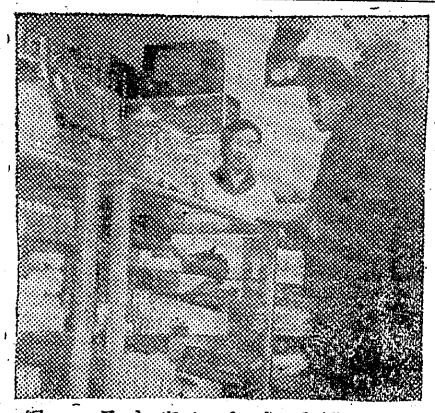
平市磐の闘べによると大友は昭和十九年春国鉄湯本駅に入社、同二十年秋貨車の入替作業中事故で両足を切断されその後弘済会に勤務していたものだが

大友は酒とパチンコが大好で弘済会で十月の下旬棚下したとき同販売は大友主任のほか鉄道末亡人三人がいるが末亡人関係に波及は不正はみられず十一月には売上げ高に残高が多かつたため富永所長が不審に思い直接調べたところ三十九万円の赤字を発見したもので本社事故委員会もこれを重視近く調査班が来平する

地方事務所内に
消費組合売店を設置

石城地方事務所ではかねてから同所内に消費組合売店を設ける構想を進めていたが十四日から前の未亡人会売店を改造してモダンな売店を造つた売店には昼食お菓子類から雑物、そして洋服、寝具と言つた具合になんでもあり職員に対しては市価よりも一割乃至二割安くしかも十ケ月の月賦になつている、このため職員はいまゝでは外から高いものを買つていたが今度からは安くて近くで買えると大喜び、しかしこの出現にいままで職員相手に掛売していた外来商人は困つたことだなにかよい売込方法はありませんかと風案しているとの由

（写真は消費組合売店）



弘濟會に汚職事件
大友平販売主任を檢擧

財団法人鉄道弘済会水戸営業所平支所＝所長富永泉三さん(六〇)＝駅第一号売店の汚職事件を探知した平市磐では聞込み捜査を続けていたが十五日午前六時ころ第二販売主任大友義雄(三〇)を業務上横領あり家人から小名浜地区警に捜査願が出された

豊間の青年家出

豊間町字原町七九四家信一君(三)は十三日午後二時半頃現金二千七百円をもつて家出した、自殺の恐れあり家人から小名浜地区警に捜査願が出された

湯本にボヤ

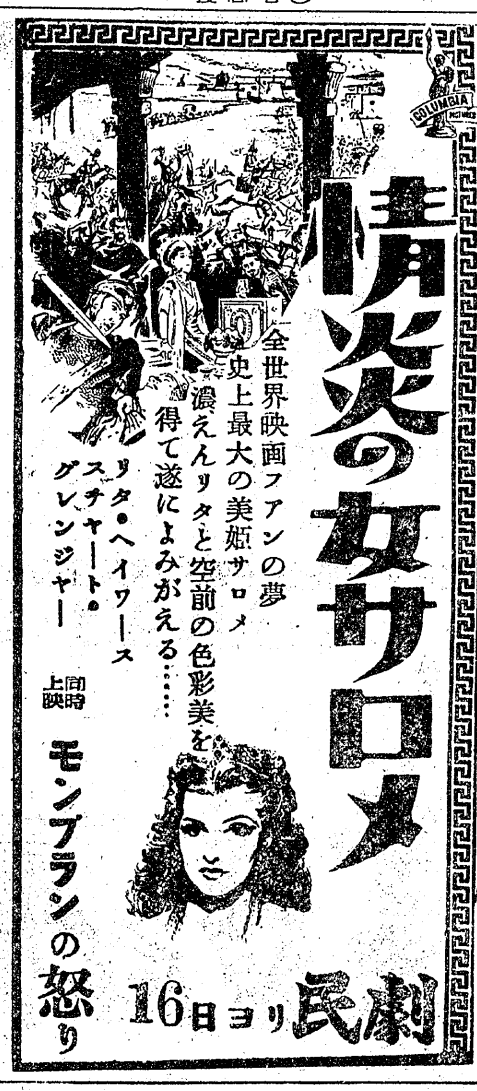
十五日午前九時四十分ころ湯本町三函備中屋旅館＝島崎ヨネさん宅の＝方屋根のコールタル釜かへのため七輪の火でコールタルをとかしていたところ突然コールタルに引火コールタルの火が屋根にこぼれたため同旅館の屋根二尺四方を焼いたがすぐ鎮火した

集團窃盗を檢擧
盗品を売つてポンに消費

小名浜地区警では、十五日山形県米沢市福田町生れ住所不定鎌田儀一(三四)茨城県久慈郡上小川村生れ住所不定富田幸一(三)渡辺村上釜戸蔵野修(三)湯本町字水野谷伊藤安平(三)内郷町大字綴無職某(一九)の五名を集団窃盗容疑で身柄送検した

同人らは湯本町水野谷無職五十嵐久夫方を根城に、半年前から窃盗団を組織して去る二日と六日に湯本町高校に忍び込み、教師や生徒の所持品約二万円を窃取した外湯本、小名浜、磐崎、泉等にわたり自転車など約三十件総額二十万円相当窃盗を働き古物商に売却してはヒロポン代に消費していたもので、小名浜町に自転車を売込みに来て足がついたもの

準急二〇二列車を臨検窃去り米三十五個、五俵を押収した

置去り米五俵

平鉄道公安室では十五日午前三時三十七分常磐線平駅着上り上野行